

質問

回答

ふるさと納税制度で活性化を

魅力ある返礼品の充実を図ります

「企画調整課長」



ばん 悟

制限される前の平成28年〜30年度の3年間で、町への寄付金が約600万円、町民が他自治体に寄付した金額が約2400万円と聞きました。

質問 当町へのふるさと納税で、令和元年度の寄付金額とワンストップ特例制度を使つてのふるさと納税の申請は、何件ありましたか（平成28〜30年度）。

回答 平成28年〜30年度のふるさと納税の寄付者は128人で、その内17人が確定申告不要なワンストップ特例制度を利用されました。現在、当町では寄付金1万円につき新米「はつしも」と、安八温泉利用回数券の2種類しか返礼品として取り扱っており、令和元年度の寄付金額は、3月11日時点で

174万円です。他の自治体と比較すると少ないのが現状です。

質問 令和元年度、返礼品をどのように見直ししましたか。

回答 ふるさと納税の見直しに合わせて、魅力ある返礼品を増やすため、広報紙やホームページで提供事業者の募集、町内企業への訪問を実施しました。その結果、4月より1種類を返礼品に加えることができました。

質問 ふるさと納税制度を応援するインターネットサイトを活用し、当町をもっとPRしたらどうですか（ふるさとチョイス、さとふるなど）。

回答 寄付金を増やすには情報発信が重要になってきます。SNS等を活用した情報発信に努めると共に、より寄付者が利用しや

すいホームページの見直しを進めます。

質問 「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」などに加盟して、正しいノウハウを効率よく習得しませんか。ふるさと納税本来の趣旨・目的を全国に伝えるため、志を同じくする自治体の集まりと聞いています。

回答 「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」に

ついては活動内容を精査して検討します。このふるさと納税制度の活用は、人口減少の中、財源確保や町内企業の活性化に有効な手段であり、引き続き魅力ある返礼品のラインアップを充実し、当町を多くの方に知っていただくよう努めます。

当町のふるさと納税の返礼品

「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」に



当町のふるさと納税の返礼品